

PPP/PFI 手法簡易定量評価調書

\	従来型手法 (公共施設等の管理者等が 自ら整備等を行う手法)	採用手法 (候補となる PPP/PFI 手法)
整備等費用 (運営等を除く。)	1,382,000 (千円)	1,447,000 (千円)
<算出根拠>	類似事例を基に算出	施設を使用しながら工事を行うため、設計の自由度が限定されることから同左と同等+65,000(千円)(SPC設立費)を想定。
運営等費用	1,000,000 (千円)	1,469,000 (千円)
<算出根拠>	50,000 (千円) / 年 × 20 年 (期間)	40,750 (千円) / 年 × 20 年 (期間) (光熱水費等削減率 5% の想定) + 654,000 (千円) (SPC 運営費)
利用料金収入	—	—
<算出根拠>	—	—
資金調達費用	13,903 (千円)	29,237 (千円)
<算出根拠>	年利 0.1% と想定	年利 0.2% と想定
調査等費用	—	65,000 (千円)
<算出根拠>	—	導入可能性調査の費用、その後の業務委託の費用を想定
税金	—	—
<算出根拠>	—	—
税引後損益	—	—
<算出根拠>	—	—
合計	2,395,903 (千円)	3,010,237 (千円)
合計 (現在価値)	2,281,265 (千円)	2,686,608 (千円)
財政支出削減率		VFM は -405,343 (千円)
その他 (前提条件等)		